

施策評価シート(令和4年度実施施策)

総合計画 体系	政策No.	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	施策主管課	生涯学習課
	施策No.	5-4	施策名	地域文化の振興	施策主管 課長名	福田 富美代
関係課	生涯学習課					

1. 施策の目的

対象	A 文化財・地域の歴史文化	意 図	A 適切に保存され、その価値を損なうことなく活用されている
	B 地域		B 地域の歴史文化に魅力を感じ、保存・継承している
	C 町民		C 地域の歴史文化を学び、その魅力を情報発信している

2. 成果指標

指標名		単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 町内文化財の保存・活用事業の件数 (増加) (現状値：H30時点)	件	131	190	190	190	204	207
				126	146			
②	B 地域の歴史や文化財に親しむ機会を持った方 の人数 (増加) (現状値：H30時点)	千人	1.25	1.31	1.38	1.44	1.51	1.57
				1.39	1.86			
③	C 町の歴史文化に興味・関心のある町民の割合 (増加) (現状値：H30時点)	%	10.2	12.5	14	15.5	17	18.5
				7.5	9.9			
④								

3. 指標の分析 (成果が向上した、またはしなかった理由)

①	感染症拡大により町独自の警報発令などもあり目標値を大きく下回ったものの、町出前講座の増加や向羽黒山城跡整備資料室を計画通り開館したことにより、前年度より増加した。
②	「天海大僧正を知ろう」授業を町内全ての小学校において実施し、地元小中学校での向羽黒山城跡史跡見学や史跡等への来場も増加しており、また郷土資料館の事前周知事業などを実施したことにより、目標値や前年度実績値より増加した。
③	コロナ禍においても事業を実施したことで地域にある文化財や歴史への関心が高まりつつあり前年度実績値より増加したものの、事業実施における事前周知不足や地域文化財への魅力再発見事業(出前講座)の固定化もみられ目標値を下回ったと考える。
④	

4. 課題に対する取組 (今年度重点的に取り組んだ課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・新鶴庁舎の郷土資料館改修工事が竣工し、分散保管していた資料の搬入や郷土資料の展示計画を策定した。また県補助金を活用し施設備品購入や開館事前周知事業(講演会など)を実施した。</li> <li>・向羽黒山城跡調査整備事業では二曲輪整備の最終年度としてサイン整備や事業報告書を作成した。国の指導のもと整備計画見直しの方針を検討した。</li> <li>・公共ホール音楽活性化事業では中学生を対象としたアクティビティやコンサートを実施し、町民にプロの音楽家による演奏に触れる機会を創出した。</li> </ul>
---

5. 次年度の方向性 (施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題)

<p>郷土資料館においては展示計画に基づいた展示や継続して補助金を活用した備品購入など、計画的に開館準備を行うとともに、町民への関心を高めるため愛称を募集するなど、事前周知に務める。また、引続き公共ホール音楽活性化事業を実施し、町民にプロの音楽家による演奏に触れる機会を創出し、ホールの有効活用を図っていく。</p>
--

## 6. 施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和4年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	5506	地域文化振興事業	1,939	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
2	16760	遺跡調査・整備事業	3,758	拡充	拡大	①有効性改善	
3	16761	文化財保存・活用事業	170,461	拡充	縮小	④協働化改善	○